平成18年2月28日

各　　位

会　社　名　株式会社ＧＳ!クレオス
代 表 者 名　代表取締役社長　大工原　泉
（コード番号　８１０１）
問 合 せ 先　執行役員・経営企画部長　松下　康彦
TEL 03-5211-1802

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月22日の中間決算発表時に公表しました平成18年３月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成18年３月期連結業績予想数値の修正（平成17年４月１日～平成18年３月31日）

(単位：百万円、%)

	売　上　高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想(Ａ)	110,000	800	△ 3,000
今回修正予想(Ｂ)	110,000	300	△ 3,800
増減額(Ｂ－Ａ)	－	△ 500	△ 800
増減率(%)	－	△ 62.5	△ 26.7
前期(平成17年3月期)実績	103,250	636	437

２．平成18年３月期単独業績予想数値の修正（平成17年４月１日～平成18年３月31日）

(単位：百万円、%)

	売　上　高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想(Ａ)	100,000	500	△ 3,200
今回修正予想(Ｂ)	100,000	20	△ 4,000
増減額(Ｂ－Ａ)	－	△ 480	△ 800
増減率(%)	－	△ 96.0	△ 25.0
前期(平成17年3月期)実績	95,828	238	255

３．修正の理由

(1)通期業績予想数値の修正

売上高は全体として概ね予想通り推移いたしておりますが、婦人アパレル事業の改善が進む一方で、通販および専門店向け紳士・婦人ＯＥＭ事業が需要の減退や激しい価格競争などの影響を受け、利益面で予想を下回る見込みとなるほか、非繊維関連事業においても堅調なホビー関連など一部を除き、大型機械類の受注減などで利益面において厳しい状況が続くものと予想されます。さらに、特別損失における減損会計適用による減損損失は見込み通りでありますが、事業改善に向けての商品評価基準変更に伴う評価損の増加などにより、経常利益ならびに当期純利益とも前回発表の業績予想数値を下回る見込みとなったため、修正するものであります。

なお、当社は繊維関連事業の立て直しが最重要課題であると考え、新たに特別プロジェクトチームを作り、約半年間をかけて事業構造の最適化と収益の最大化に向けての事業分析を徹底的に行なってまいりました。

その結果、当社は部門の統廃合など同事業の構造改革を断行し、新年度より新たな体制のもとで営業基盤の強化と収益確保を目指します。

(2)連結業績予想の修正は、主として単独業績予想修正に伴うものであります。

(注)上記の予想は現時点で入手された情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上